

データ番号	203 (資料6)
効用の種類	香りによる生理・心理的効用
見出し	スズランの香りで作業ミスが減り、疲れにくくなる
出典	(『フレグランスジャーナル』1994-1) 「香りの効用の研究動向と今後の課題」 谷田正弘
内容	*米シンシナティ大学の研究によると、コンピューターのCRT画面上に多数のシグナルに交って少数のターゲットが予告無しに表れるよう設定し、被験者のキー押しによる検出作業を40分行った。その結果、ペパーミントやミュゲ(スズラン)の香りを漂わせながら作業した方は、ターゲット検出作業のミスが低下し、疲労カーブも小さいことが明らかになった。香りには作業付加を緩和する効果がある。
備考	*「Warm, J. S., Dember W. N. et al., J. Soc. Cosmet. Chem., 42, 199-210 (1991)」より 〈参考〉 ○不良品抜き取り作業、キーパンチ作業など、日常的な作業への応用 ○オフィスや休憩室への香りの応用

出典：「フレグランスジャーナル」1994-1、「香りの効用の研究動向と今後の課題」谷田正弘

◆実験：香りが作業負担を軽減する

(*シンシナティ大学の研究グループより)

被験者をコンピュータの前に座らせ、CRT画面上に多数のシグナルに混じって、ごく少数のターゲットシグナルが表れたときにキーを押す作業を40分間行う。これを、さまざまな香りを嗅がせて比較する実験を行った。

この結果、ペパーミントやスズラン（ミュゲ）を嗅がせた条件下では、ターゲットシグナル検出作業のミスが低下し、検出成功率の疲労カーブも良好な結果であった。

(*Warm, J. S., Dember W. N. et al., J. Soc. Cosmet. Chem., 42, 199-210 (1991))

▼ペパーミントおよびミュゲの香りのシグナル検出率への影響

(J. Soc. Cosmet. Chem (1991))

